

2026年7月20日

YACかわら版 733

海峡の大波

イタリア

地中海

エトナ火山

イオニア海

ジブラルタル海峡



地中海に注ぐ河川の水量は、地中海から蒸発する水量の量より少ないそうです。海水の濃さも大西洋のそれより濃いそうです。これらの理由で大西洋側から時速約4kmの流れが... (一部転載)
<https://www.yac-j.com/wp-content/uploads/2022/11/yackawaraban20220601.pdf>

① ジブラルタル海峡と比較しメッシーナ海峡の大波は出現頻度が高いです



②-2

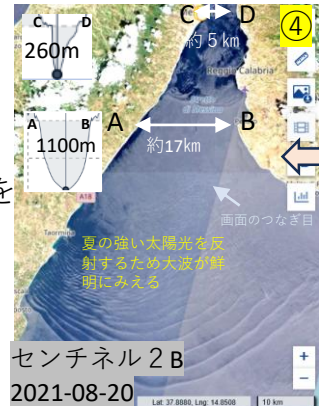
ストロンボリ火山

センチネル2B

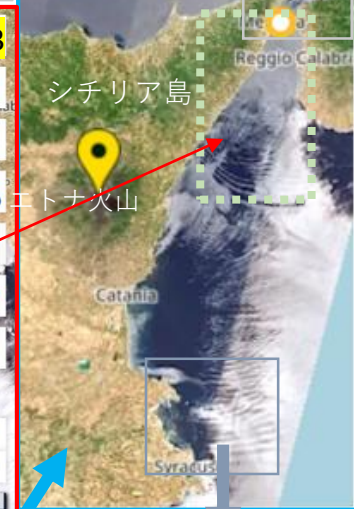
2026年7月15日10:00

シチリア島

エトナ火山



②-3



火山活動が活発になっている地中海のエトナ火山やストロンボリ火山を調べるためにコペルニクスブラウザ (CB) を使ってセンチネル2 データをひらきました。おどろきました。エトナ火山の東側のイオニア海にジブラルタル海峡でみかけたような大波が見えます。宇宙から大波が見えます。 ②① 7月15日の観測画像を拡大してみました。メッシーナ港から南に120km以上波を確認できます。②-3 北側にも30km以上確認できます。②--2

イタリア本土の形は長ぐつに似ています。つま先の近くにシチリア島 (シシリーとも) が見えます。島と本土の間の海峡が、日本の鳴門海峡、北アメリカ西岸とカナダのバンクーバー島東岸の間のセイモア海峡とともに世界三大潮流のメッシーナ海峡です。7月15日の観測画像だけでなく、ほとんどのメッシーナ海峡周辺観測画像で波が確認できます。

海峡から南下する大波の観測画像は、2021年8月20日の観測画像が有名です。 ④ 海峡の幅と海峡の深さをCBで確認してみました。

*メッシーナ海峡は一般的には、深さ:最大約90m、長さ:約32km、幅:北端約3.2km、南端約16km

ジブラルタル海峡の大波は、センチネル1 画像でも確認できました。7月15日にはセンチネル1Cが観測しています。CBではどのレイヤーでも確認できませんでした。そこでCBの左下の「Effects and... (効果と詳細オプション)」を操作しました。 ③

Gain (ゲイン: 明るさと色相 明るい場所の調整)

Gamma (ガンマ: 明暗のコントラスト調整 この場合は波を鮮明化)

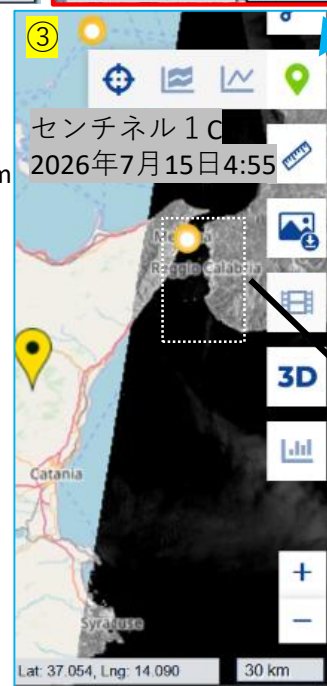
明るい線は波頭を衛星からの電波を強く反射しています。波が盛り上がっている場所でしょうか。

明るい線の間は、海面の波頭と波頭の間でしょうか。

③-2 →Gain: 7.7 Gamma: 0.4

この操作で、海面の様子が容易に把握できるようです。

バンクーバー島とニシンの群来で探った場所です。緑豊かな森林が印象に残っています。次号ではセイモア海峡を探ります。



③

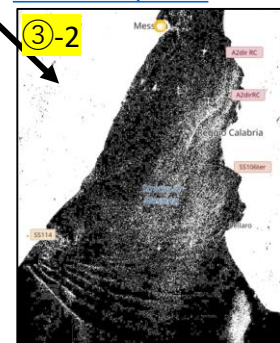
センチネル1C

2026年7月15日4:55



②-4

<https://link.dataspace.copernicus.eu/0674>



③-2